



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2022
令和4年
10-20
No.602

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

景況調査レポート



千曲市 桑原
龍洞院架道橋
【登録有形文化財】
橋長7.4m・幅員21m

龍洞院は曹洞宗の古刹で紅葉の名所です。篠ノ井線が寺の参道を通ることになり、煉瓦造りのアーチ橋の歩道が作られたのは明治33年のこと。今では官設鉄道時代の遺構として国の登録有形文化財となっています。百余年の歳月を過ぎても現役で、この日も架道橋上部の高台の線路を、特急「しなの」が通過していきました。

■ 長野しんきん 景況調査レポート	2
■ 企業アンケート 環境に配慮した 「企業経営」①	6
■ 生活者アンケート 「物価」について ①	9
■ 北信濃 明治時代の風景 (7) 城山から東方を見た図	10

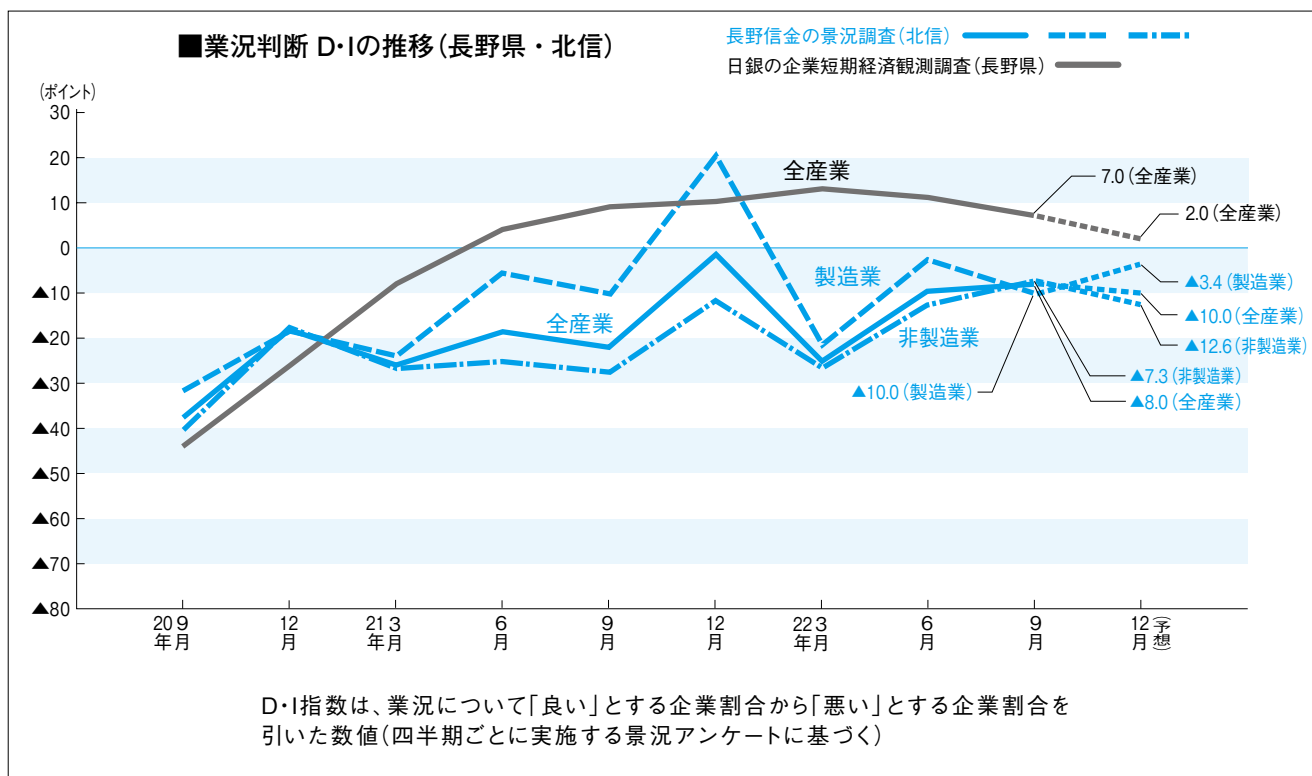
「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



長野信用金庫

景況調査レポート 概況 (第189回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2022年7～9月期…景気の現状 ◇2022年10～12月期…景気の見通し



全産業▲10 → ▲8 製造業は悪化、非製造業は改善

2022年7～9月期の業況判断D・Iは、全産業で2ポイント改善して▲8となりました。製造業は7ポイント悪化の▲10、非製造業は6ポイント改善の▲7です。

2022年10～12月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、2ポイント悪化の▲10となりました。

◆北信地区の7月～9月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲10	▲8 (2ポイント改善)	▲10
製造業	▲3	▲10 (7ポイント悪化)	▲3
非製造業	▲13	▲7 (6ポイント改善)	▲13

非製造業▲13 → ▲7 サービス業が悪化

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が+2(前期比+13ポイント)、卸小売業が▲19(同+10ポイント)、

サービス業が▲9(同▲11ポイント)となり、サービス業が悪化しています。

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲13	▲7 (6ポイント改善)	▲13
建設業	▲11	+2 (13ポイント改善)	▲3
卸小売業	▲29	▲19 (10ポイント改善)	▲27
サービス業	+2	▲9 (11ポイント悪化)	▲13

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)		収益判断D・I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	+5	▲5 (悪化)	▲10	▲15 (悪化)
製造業	+10	▲2 (悪化)	▲14	▲13 (改善)
非製造業	+3	▲7 (悪化)	▲8	▲16 (悪化)

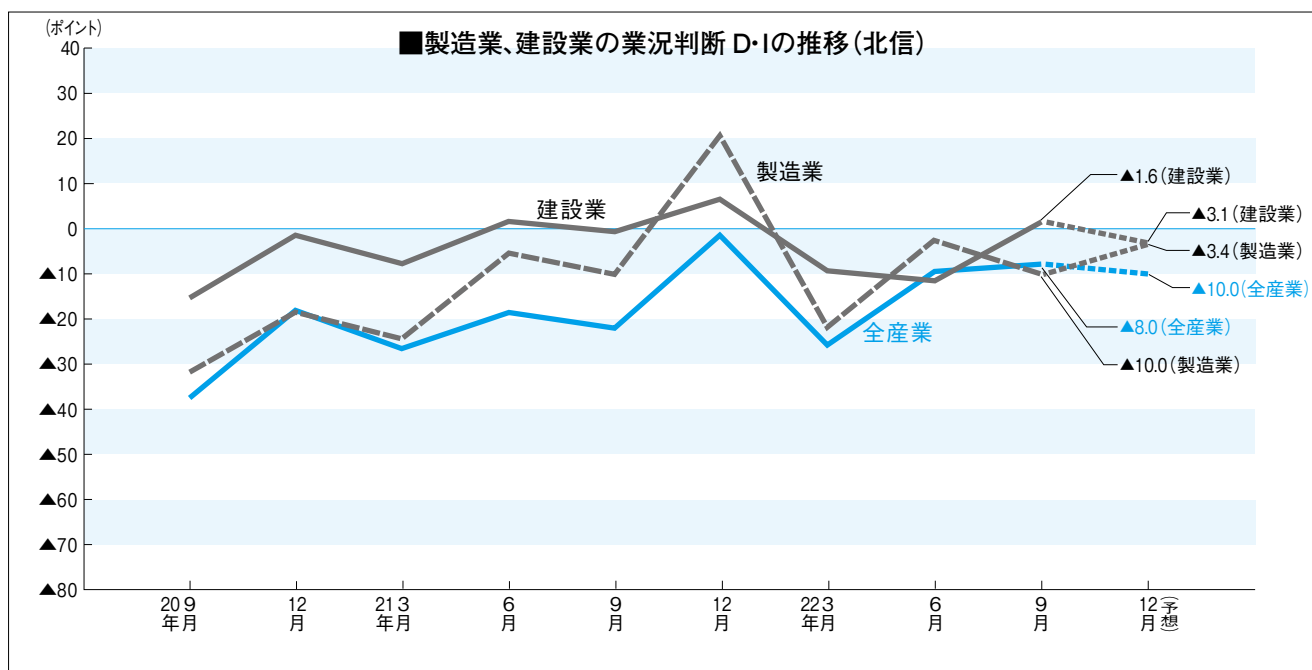
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	2021年12月	2022年3月	6月	9月	12月(予想)
全産業	▲1.4	▲25.1	▲9.5	▲8.0	▲10.0
製造業	+20.6	▲21.5	▲2.8	▲10.0	▲3.4
非製造業	▲11.9	▲26.8	▲12.7	▲7.3	▲12.6

[調査要領]

●調査実施……2022年9月
●調査対象企業(回収)
製造業……60社
建設業……64社
卸小売業……42社
サービス業……47社

合計……213社
●回収率……84.9%
●従業員規模
30人未満……73.7%
●分析…D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

7割悪化して▲10に、来期は改善の予想

製造業の7～9月期の業況判断D・Iは▲10で、前期(▲3)に比べ7割悪化となりました。10～12月期は今期より7割改善の▲3の予想です。

	(前期)	4～6月期	▲3
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	▲10
	(来期)	10～12月期	▲3(予想)

◇業種別業況判断D・I

改善	食料品・精密機械
悪化	金属加工・一般機械・電気機械

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲13(1割改善)

「増益」割合 前期 24% → 12%(12割減少)

「減益」割合 前期 39% → 25%(14割減少)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」 前期 42% → 46%(4割増加)

「収支トントン」 前期 39% → 39%(横ばい)

「赤字」 前期 19% → 15%(4割減少)

企業からのコメント

★9月から商品を値上げしたが、今後の社会情勢が読めないで、不安を残している状況。(乾麺)

★急速に“円安”が進む為替相場と“上海市等のロックダウン”による中国の消費や生産の停滞などの影響を受けて、業務が不安定な状態になっている。

(電気機械)

☆★受注はほぼ安定しているが、相変わらず仕入先等からの値上げ要求が相次いでいる状況。

(プラスチック製品)

建設業の景況

13割改善して+2に、来期は悪化の予想

建設業の7～9月期の業況判断D・Iは+2で、前回(▲11)に比べ13割改善しています。10～12月期は今期より5割悪化の▲3の予想です。

	(前期)	4～6月期	▲11
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	+2
	(来期)	10～12月期	▲3(予想)

◇業種別 総合建設

前期 +22 → +46(24割改善)

土木工事 前期 ▲23 → ▲9(14割改善)

建築 前期 ▲19 → ▲14(5割改善)

各種設備 前期 +20 → +20(横ばい)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲19(7割悪化)

「増益」割合 前期 14% → 13%(1割減少)

「減益」割合 前期 26% → 32%(6割増加)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」 前期 42% → 50%(8割増加)

「収支トントン」 前期 54% → 45%(9割減少)

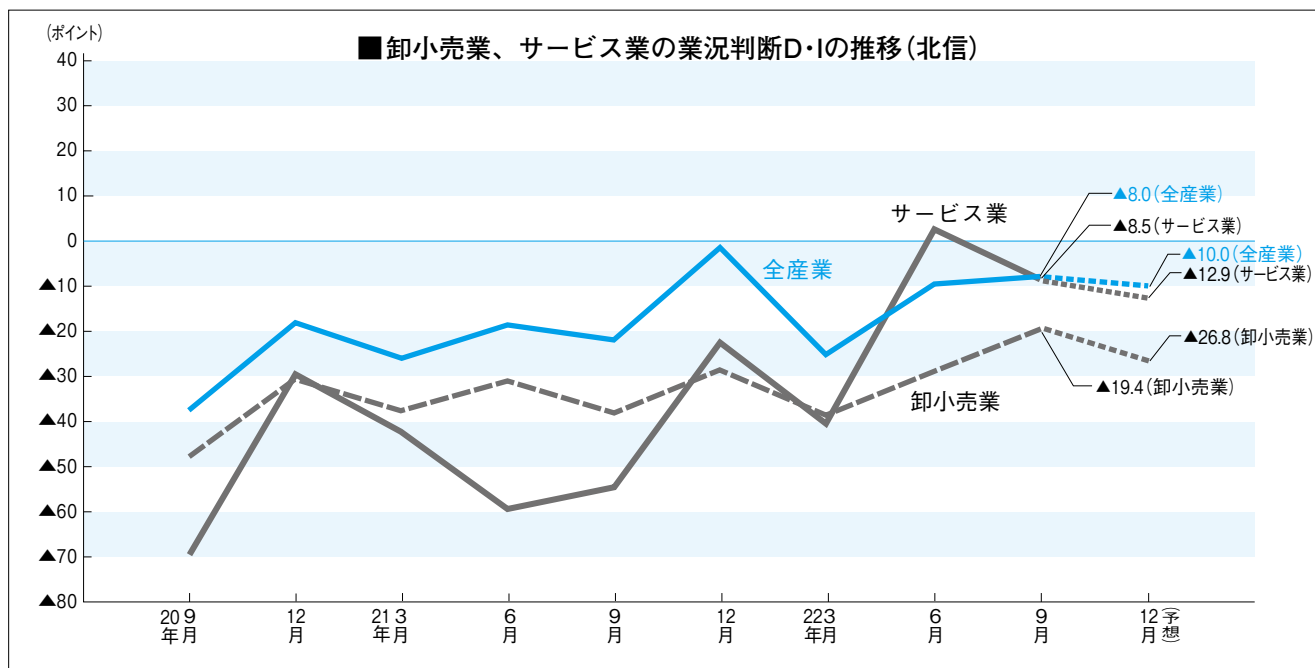
「赤字」 前期 4% → 5%(1割増加)

企業からのコメント

★建設資材の価格は依然として高止まり。また若手の技術者不足も深刻な状況である。(総合建設)

★コロナ、ウクライナ、円安等、本来業界に直結しない事由だが、ボディーブローのようにジワジワと影響が出始めている。(土木工事)

☆★工事量は増加しているが、材料値上げ分の価格転嫁の如何により利益確保に影響。(内装業)



卸小売業の景況

10㊦改善の▲19、来期は悪化の予想

卸小売業の7～9月期の業況判断D・Iは▲19で、前回(▲29)に比べ10㊦改善しました。10～12月期の業況判断D・Iは8㊦悪化の▲27の予想です。

	(前期)	4～6月期	▲29
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	▲19
	(来期)	10～12月期	▲27(予想)

◇業種別	卸売業	前期	▲29 → ▲18 (11㊦改善)
	小売業	前期	▲29 → ▲21 (8㊦改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲15 (3㊦改善)

「増益」割合	前期	16% → 15% (1㊦減少)
「減益」割合	前期	33% → 29% (4㊦減少)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期	34% → 33% (1㊦減少)
「収支トントン」	前期	45% → 36% (9㊦減少)
「赤字」	前期	21% → 31% (10㊦増加)

企業からのコメント

- ★消費者は、物の値段にシビアになってきているので、お盆を境にして、高級品の果物等が売れなくなっている。(青果卸)
- ★全体的に値上げが続く中、商品の価格を上げられずこの先の見通しに不安がある。(花鉢)
- ★特段大きな変化はないが、依然として部品不足による新車の供給が滞っており納車の遅れが発生。(自動車販売整備)

サービス業の景況

11㊦悪化の▲9、来期も悪化の予想

サービス業全体の7～9月期の業況判断D・Iは▲9で、前回(+2)と比べ11㊦悪化しました。業種別では、サービス・輸送・運輸が改善し、タクシー・観光・不動産が悪化しています。10～12月期の業況判断D・I(予想)は4㊦悪化の▲13です。

	(前期)	4～6月期	+2
◆業況判断D・I	(今期)	7～9月期	▲9
	(来期)	10～12月期	▲13(予想)

◇業種別業況判断D・I

サ ー ビ ス	前期	▲38 → +13 (51㊦改善)
輸 送	前期	▲33 → ▲30 (3㊦改善)
タ ク シー	前期	+33 → ▲33 (66㊦悪化)
運 輸	前期	▲67 → ▲29 (38㊦改善)
外 食	前期	±0 → ±0 (横ばい)
観 光	前期	+50 → ±0 (50㊦悪化)
不 動 産	前期	+30 → ▲18 (48㊦悪化)

企業からのコメント

- ★燃料の高騰が大きく響いている。サーチャージは、一部では了承してもらえたが大部分は無理。
- ★☆相次ぐ燃料高の影響で、収益状況は不安定である。しかし重量輸送は好調に推移しており、定期輸送の減少分をカバーしている。(以上トラック輸送)
- ☆信州割等の割引により好調に転じた旅館・ホテルも増えてきたが、受入客層により大きく明暗が分かれている。(和風旅館)
- ☆不動産の売買は増加している。特に栗田地区の不動産は今後、活況を呈すると思われる。(不動産)

雇用情勢 7～9月期

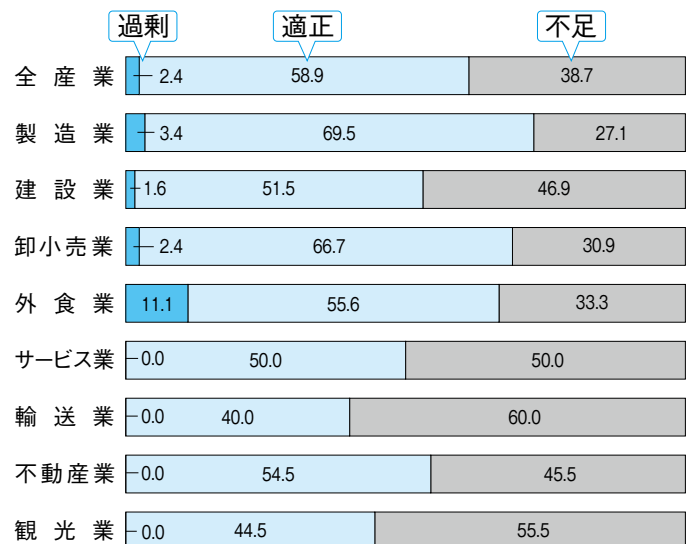
建設・外食・輸送が改善

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲36となり、前回（▲37）に比べ1ポイント改善しています。

雇用情勢（「過剰」－「不足」）

業 種	前期（4～6月）	今期（7～9月）
全産業	▲36.6	▲36.3
製造業	▲23.9	▲23.7
建設業	▲50.0	▲45.3
卸小売業	▲20.1	▲28.5
外食業	▲55.5	▲22.2
サービス業	▲50.0	▲50.0
輸送業	▲77.7	▲60.0
不動産業	▲44.4	▲45.5
観光業	▲44.4	▲55.5

従業員の過不足感（％）



（資料：当金庫）

資金繰り 7～9月期

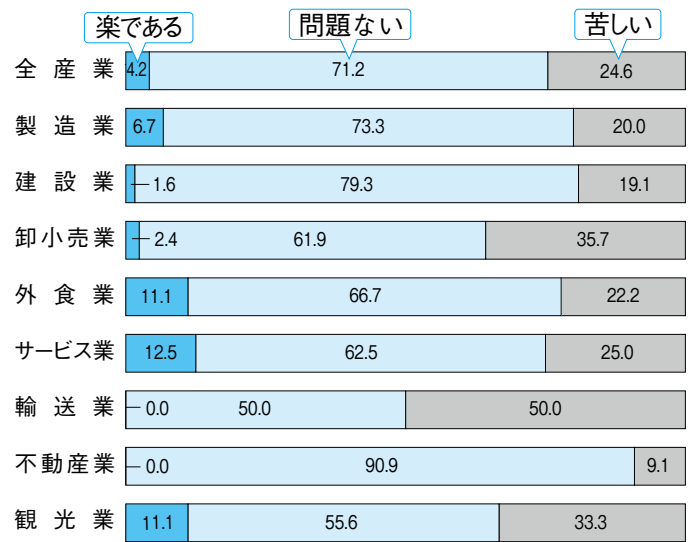
製造・サービス・輸送が改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲20となり、前回（▲20）に比べ横ばいになっています。

資金繰り（「楽である」－「苦しい」）

業 種	前期（4～6月）	今期（7～9月）	来期（10～12月）
全産業	▲20.2	▲20.4	▲20.0
製造業	▲25.6	▲13.3	▲11.9
建設業	▲15.0	▲17.5	▲14.5
卸小売業	▲20.4	▲33.3	▲30.9
外食業	▲11.1	▲11.1	▲11.1
サービス業	▲14.3	▲12.5	▲12.5
輸送業	▲55.5	▲50.0	▲50.0
不動産業	±0	▲9.1	▲20.0
観光業	▲11.1	▲22.2	▲44.5

資金繰り状況感（％）



（資料：当金庫）

販売価格動向 7～9月期

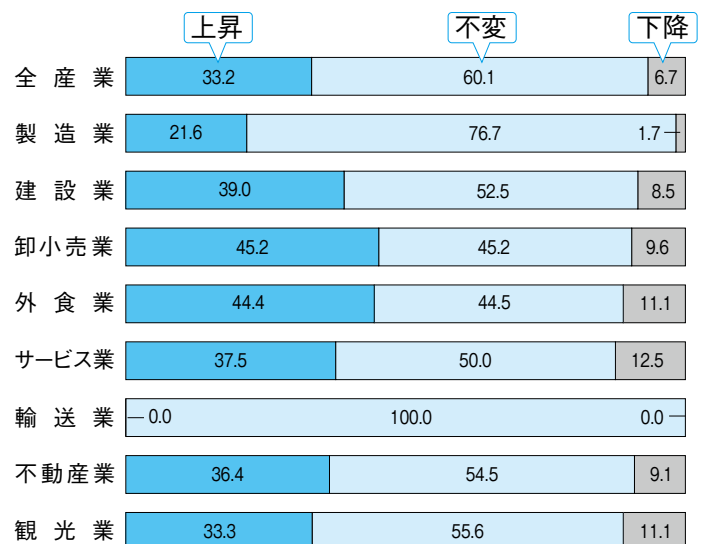
建設・卸小売・サービス・不動産が上昇

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で+27となり、前回（+25）に比べ2ポイント改善しています。

販売価格動向（「上昇」－「下降」）

業 種	前期（4～6月）	今期（7～9月）	来期（10～12月）
全産業	+25.0	+26.5	+25.7
製造業	+25.0	+19.9	+25.4
建設業	+26.9	+30.5	+16.9
卸小売業	+26.7	+35.6	+35.7
外食業	+44.4	+33.3	+55.5
サービス業	+14.3	+25.0	±0
輸送業	+11.1	±0	+20.0
不動産業	+11.1	+27.3	+20.0
観光業	+22.2	+22.2	+44.4

業種別販売価格動向（対前期）（％）



（資料：当金庫）

環境配慮の企業経営

「更に取り組むべき」37% 「取り組みはこれから」43%
「十分に取り組んでいる」7% 「必要性を感じていない」5%

企業アンケート
環境に配慮した
「企業経営」①
2022年9月調査

環境問題に取り組む課題

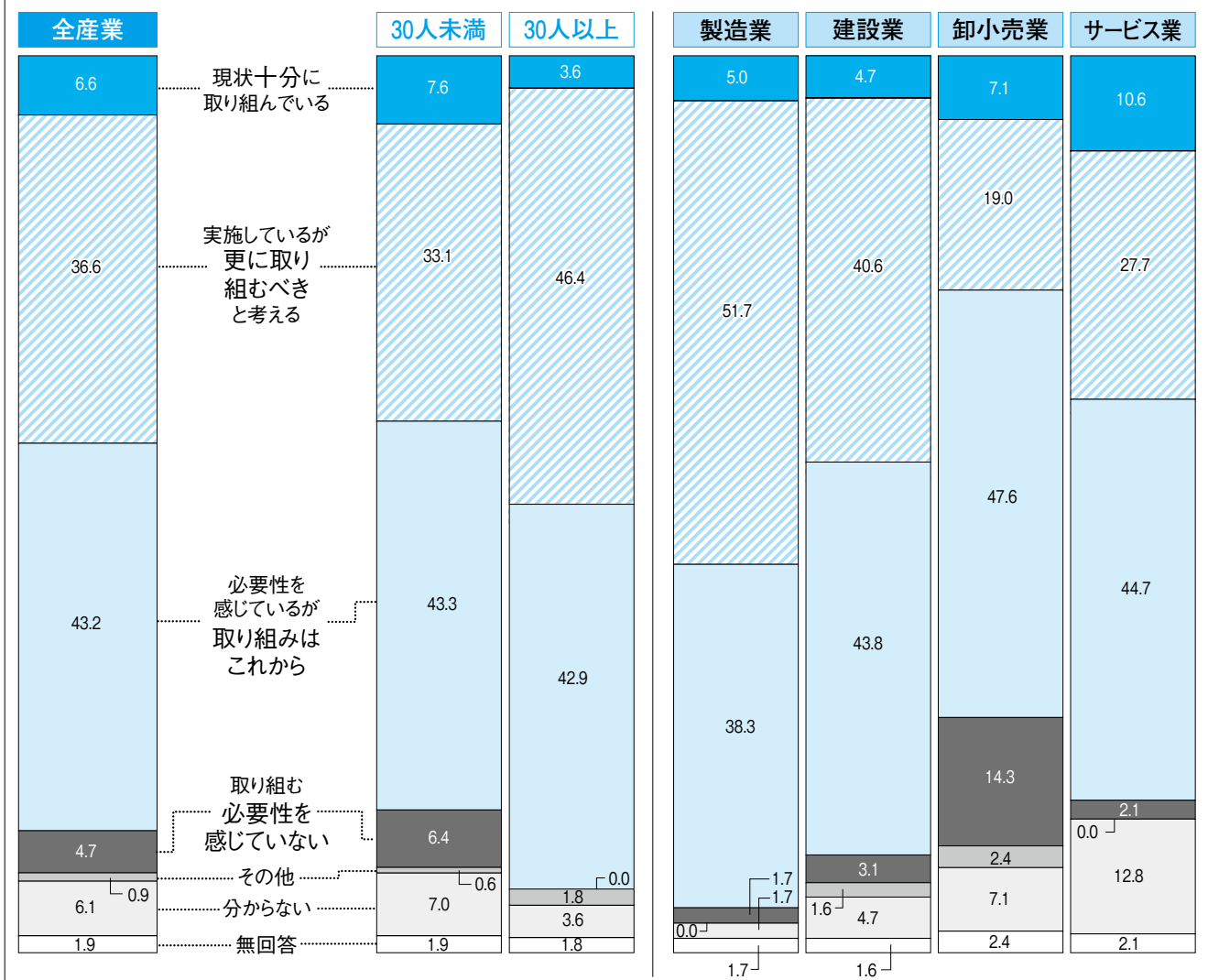
「従業員への環境教育が不十分」23% 「環境配慮の設備や資金が不足」21%
「人材やノウハウが不足」21%
「新たな環境配慮の項目が思いつかない」14% 「環境配慮の事例がアピールできていない」14%
「取り組みがマンネリ化している」14%

環境配慮の企業経営 「十分に取り組んでいる」は7%に過ぎず、「更に取り組むべき」が37%、「取り組みはこれから」が43%、「取り組む必要性を感じていない」が5%でした。

環境問題に取り組む課題 「従業員への環境教育

が不十分」が23%、「環境配慮の設備や資金が不足」と「人材やノウハウが不足」がともに21%、「新たな環境配慮の項目が思いつかない」と「環境配慮の事例がアピールできていない」、「取り組みがマンネリ化」がともに14%となっています。

●環境に配慮した企業経営で、「現在の取り組み状況」(%)



環境配慮の企業経営

「十分に取り組んでいる」7%
「必要性を感じていない」5%
「取り組みはこれから」43%
「更に取り組むべき」37%

「環境に配慮した企業経営で、現在の取り組み状況はどうか」を聞きました。

「現状十分にに取り組んでいる」は7%に過ぎず、「実施しているが、更に取り組むべきと考える」が37%、「必要性を感じているが、取り組みはこれから」が43%、「取り組む必要性を感じていない」が5%、「その他」が1%、「分からない」が6%となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「取り組む必要性を感じていない」(6%)が30人以上より6割

高くなっています。30人以上は「実施しているが、更に取り組むべきと考える」(46%)が30人未満より13割高くなっています。

業種別

卸小売・サービス業は
ともに2項目でトップ

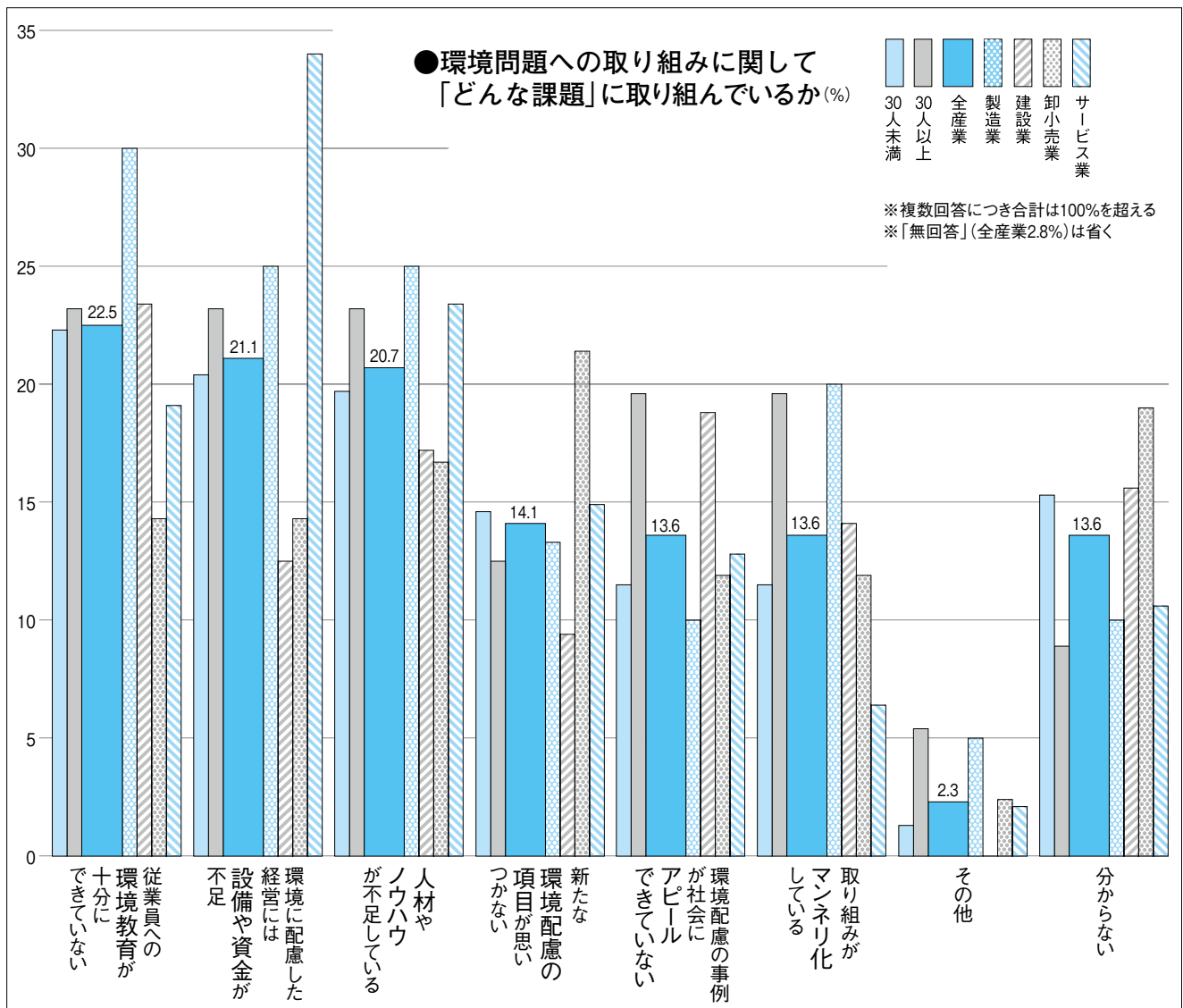
◇4業種の状況

製造業 「実施しているが、更に取り組むべきと考える」(52%)は4業種中トップです。

建設業 「更に取り組むべきと考える」(41%)と「取り組む必要性を感じていない」(3%)がともに2番目です。

卸小売業 「必要性を感じているが、取り組みはこれから」(48%)と「取り組む必要性を感じていない」(14%)はともにトップです。

サービス業 「現状十分にに取り組んでいる」(11



%)と「分からない」(13%)はともにトップで、「取り組みはこれから」(45%)が2番目です。

環境問題に取り組む課題

- 「従業員への環境教育が不十分」23%
- 「環境配慮の設備や資金が不足」21%
- 「人材やノウハウが不足」21%
- 「新たな環境配慮の項目が思いつかない」14%
- 「環境配慮の事例が社会にアピールできていない」14%
- 「取り組みがマンネリ化」14%

「環境問題への取り組みに関して、どんな課題に取り組んでいるか」を聞きました。

「従業員への環境教育が十分にできていない」(23%)がトップで、以下「環境配慮の設備や資金が不足」と「人材やノウハウが不足」がともに21%、「新たな環境配慮の項目が思いつかない」「環境配慮の事例が社会にアピールできていない」「取り組みがマンネリ化している」がともに14%、「その他」(2%)、「分からない」(14%)となりました。

従業員規模で見ると、30人未満は「分からない」(15%)が6割、30人以上より高くなっています。30人以上は「環境配慮の事例が社会にアピールできていない」(20%)と「取り組みがマンネリ化し

ている」(20%)がともに8割、30人未満より高くなっています。

業種別

6つの施策が平均的に選択される

◇4業種の状況

製造業 「従業員への環境教育が十分にできていない」(30%)と「取り組みがマンネリ化している」(20%)、「人材やノウハウが不足している」(25%)は4業種中トップです。

建設業 「環境配慮の事例が社会にアピールできていない」(19%)はトップです。

卸小売業 「新たな環境配慮の項目が思いつかない」(21%)はトップです。

サービス業 「環境に配慮した経営には設備や資金が不足」(34%)はトップです。

◇次号は「SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みと課題」を予定

[調査要領]

実施期日：2022年9月上旬～中旬

実施要領：第185回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収213社(製造業60社、建設業64社、卸小売業42社、サービス業47社)
うち従業員30人未満157社(73.7%)

「環境に配慮した企業経営」に関する企業からのコメント

製造業

◇経営戦略的にはデメリットかもしれないが、“長期間使用可能な製品づくり”を心がけることが環境に配慮した企業経営と考える。(雑貨製造)

◇数値の管理など負荷があって大変だが、そろそろ着手しなければいけないと思う。(金属製品加工)

◇過去に、ISO1400を県下で他企業に率先して取得。その流れを維持しているが、リーマンショックやコロナ禍と、企業体力に余る圧力で苦労している状況である。(精密機器)

◇必要性を感じてはいるが、難しい課題が多く、取り組みに躊躇している。(プラスチック製品)

建設業

◇零細企業に出来ることは限られていて、効果も微々たるものかと思う。従業員の「働き方改革や待遇改善」は考えていきたい。(土木工事)

◇環境問題は、常に意識することが重要となる。

◇“SDGs”に取り組んでいる企業への「公的支援」の充実を求めている。(以上総合建設業)

卸小売業

◇いずれは取り組もうと思っているが、取り組み手法に関する知識が不足している。(食品・飲料小売)

◇環境を優先にすると包装等従来のサービスが出来ないケースもあり、顧客の理解も必要。(土産品)

サービス業

◇燃費性能の高い“低炭素型ディーゼルトラック”の購入を考えている。(一般貨物運送)

◇環境問題の重要性は充分理解しているが、消耗品等で考えると、コストが約5割も上昇してしまい苦慮している。(ホテル)

◇企業イメージ向上のために、取り組むべき課題であると考える。(旅館)

◆物価上昇による「家計状況の変化」

「苦しくなった」66% 「変わらない」32% 「楽になった」0%

◆家計の経済状況が悪化した際、お金を「使わない・増やす」のどちらを選択

「お金を使わない」84% 「お金を増やす」13%

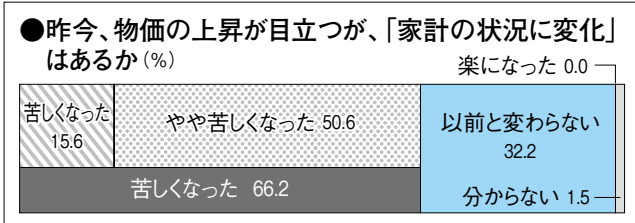
生活者アンケート
「物価」について ①
2022年9月調査

「昨今、物価の上昇が目立つが、家計の状況に変化はあるか」を聞きました。

「苦しくなった」(16%)と「やや苦しくなった」(51%)を合わせた「苦しくなった」は66%、「以前と変わらない」は32%、「楽になった」は0%、「分からない」は2%でした。

男女別で見ると、男性の「苦しくなった」は66%、「変わらない」は33%、「楽になった」は0%、「分からない」は2%、女性は同様に、67%、31%、0%、2%となり、大差はありません。

年代別で見ると、10～20代の「苦しくなった」は58%、「変わらない」は40%、「楽になった」は0%、「分からない」は2%でした。30～40代は同様に、68%、32%、0%、1%、50代以上は68%、30%、0%、3%とやや差が開いています。



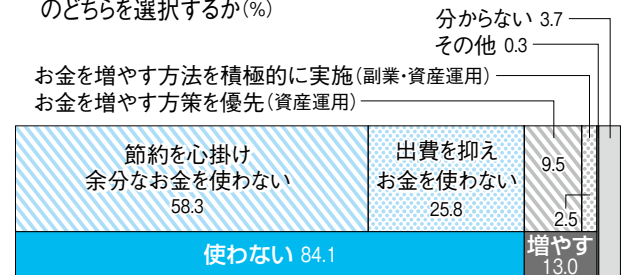
「家計の経済状況が悪化した際に、『お金を使わない・増やす』のどちらを選択するか」を聞きました。

「節約を心掛け余分なお金を使わない」(58%)と「出費を抑えお金を使わない」(26%)を合わせた「お金を使わない」は84%、「お金を増やす方策を優先する(資産運用)」(10%)と「お金を増やす方法を積極的に実施(副業・資産運用)」(3%)を合わせた「お金を増やす」は13%となりました。

男女別で見ると、男性は「お金を使わない」80%、「お金を増やす」16%、女性は同様に90%、6%となり、「お金を使わない」は、女性が男性より10%高く、「お金を増やす」は、男性が女性より10%高くなりました。

年代別で見ると、10～20代の「お金を使わない」は82%、「お金を増やす」は15%、30～40代は同様に、83%、14%、50代以上は87%、8%となり大差はありません。

●家計の経済状況が悪化した際に、「お金を使わない・増やす」のどちらを選択するか(%)



[調査要項]

実施期日：2022年9月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本店窓口

調査数：326人(男性195人・女性131人)

調査要領：アンケート用紙に記述(無記名)

「物価」に関する生活者からのコメント

- ◇スーパーでまとめ買いをするときに、物価上昇を痛感します。会計の際に、今まで5,000円だった会計が6,000円、7,000円になってしまいます。
- ◇スタグフレーションが進み、先行きが不安になるので、節約を心がけていきたい。(以上20代女性)
- ◇物価上昇の中、出費を抑えたり節約をしたりするだけでは厳しいだろうから、今後は「資産運用」も少しずつ考えていこうと思っている。(20代男性)
- ◇収入が変わらず、物価上昇が続く出費がかさむと、貯蓄をする余力がなくなり、より一層若い世代の将来への不安が大きくなると思う。
- ◇食品の値上げは、生活費の支出に大きく影響するので、不安を感じている。(以上30代女性)
- ◇物価上昇はやむをえないが、賃金水準が上がらない

- と、ますます格差が拡大すると思う。(40代女性)
- ◇物価が上昇するなら、労働賃金も平行して上がっていくことを強く願う。(40代男性)
- ◇物価上昇は、私たちの力ではどうにもならないので、一刻も早く政府に手を打って欲しい。
- ◇家計が苦しくなると、自然と楽しみも減るので、淋しい限りです。(以上50代女性)
- ◇国がムダな出費をやめて、正當に経済を回して格差を見直すべき。(50代男性)
- ◇物価が上昇したら、それに伴い収入増になればいいがそうはいかない。消費税もかなりの負担である。
- ◇支出は増加するがもらえる年金額は減る一方で、将来に不安を抱いている。(以上60代以上男性)

北信濃 明治時代の風景

(7) 城山から東方を見た図

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は、明治10年代に各町村が長野県に提出した町村誌に描かれた挿絵を紹介します。今回は明治15年(1882)ころできた『長野町誌』の、城山から東方を見た図です。

手前に健御名方富命彦神別神社の本殿(左下)と、明治天皇の行在所(佳郷館)の屋根が見えています。遠方には上信国境の山々が連なり、その下の平野部には千曲川が 右から左に向かって流れています。山沿いには「須阪」(須坂)、「小布施」、「中野」といった地名が記入されています。また直線的に家々が連なっているのは、越後方面に通じる北国街道です。

北国街道

中山道の追分宿(軽井沢町追分)から、小諸、上田の城下を経て、善光寺宿から越後に向かう街道です。佐渡の金銀を江戸に運ぶ道として、また加

賀百万石の城下金沢と江戸を結ぶ街道として重視されました。

善光寺宿(大門町)を出た北国街道は、横町、岩石町、新町を経て、吉田に至ります。現在の相ノ木通りで、その間がほぼ直線なのは人為的に作られた道筋であることを示しています。この絵では、右下から家々が連なって左上に通じ、途中で左に折れています。道に沿って家々が連なる集落は街村と呼ばれ、現在も相ノ木通りには街道の面影を残す古い家々が残っています。

北国街道が左折する場所が吉田で、絵には寺の大きな屋根が描かれています。これは吉田3丁目の善敬寺(浄土真宗)で、現在も相ノ木通りは善教寺に突き当たって左折し、若槻方面に通じています。

絵では吉田で左折した北国街道が、やがて街村



『長野町誌』(長野県立歴史館蔵)より

ではない集落に入り、手前の木に隠れていきます。この集落が^{あらまち}新町宿で、現在の稲田・徳間・若槻東条にまたがっています。

長沼宿

吉田の善敬寺の背後には左右に長い集落があって、千曲川を隠しています。これは長沼宿です。北国街道を南から来ると、矢代宿(屋代宿)と善光寺宿との間で千曲川と犀川を渡らなければなりません。

大雨で両川が増水して渡れない時は、矢代宿から松代城下、川田宿(長野市若穂川田)、福島宿(須坂市福島)を経由して布野の渡しで千曲川を渡し、長沼宿、神代宿(長野市豊野町)を通して牟礼宿(飯綱町)に抜ける北国脇街道が利用されました。このルートは雨降りの時によく利用されたので、俗に雨降り街道と呼ばれました。

松代も長沼も、戦国時代に武田信玄によって城が築かれ、武田氏が北信濃を支配する拠点になっていました。その両地を通る雨降り街道は、戦国時代から重要なルートでした。江戸時代初期には長沼に長沼藩がありました。

小林一茶と長沼

俳人小林一茶は江戸で活動しましたが、後半生は郷里柏原(信濃町柏原)に帰り、北信濃の門人宅を巡って俳諧を指導しました。その中で門人数が最も多く、最も多く宿泊した場所が長沼でした。一茶は長沼を拠点に、善光寺へもしばしば足を延ばしました。長沼から富竹を経て吉田に出て、北国街道(相ノ木通り)を通して善光寺にやって来たのです。この絵からは、そうした一茶が歩いた道が見て取れるのも面白いことです。

三登山と髻山

絵の左端にある2つの峰は、長野市と飯綱町の境にある^{みとやま}三登山です。左の峰(893m)には現在電波塔が林立しています。右の峰(923m)が山頂です。その右の「高杜山」の下をよく見ると、「髻山」



城山から見た高杜山

の文字が記されています。三登山に連なる^{もとどりやま}髻山(744m)は火山で、川中島合戦に用いられた髻山城の跡があります。

高杜山

高井富士とも呼ばれる高杜山(1351m)も火山で、中野市・山ノ内町・木島平村にまたがっています。麓の中野市赤岩に高杜神社の里宮と中社があり、山頂に奥社がまつられています。現在は広い裾野に、スキー場が点在しています。

横手山

須坂の背後の、「横岳」と書いてある山は、志賀高原では裏岩菅山(2341m)に次いで高い横手山(2307m)でしょう。しかし昔から横手山と呼ばれていて、「横岳」と書いた文献は他にないようです。幕府の作った信濃の天保国絵図には、この山を上州(群馬県)では「みつくんし」と呼ぶと書いてあります。

扇状地

この絵には、千曲川対岸の扇状地が描かれています。「須坂」(須坂)の右には、^{どどがわ}百々川とその扇状地があります。この奥から右上に山を越える道が大笹街道で、上州に通じています。「小布施」の右には、松川とその扇状地があります。この扇状地が高山村で、奥に山田温泉などがあります。

11月号は「かるかや山西光寺」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) [すかい](#)

◆物価高から家計を守る方法として、出費を減らしたい項目

「趣味・娯楽費」40% 「服・靴・アクセサリ」36% 「食費」36%

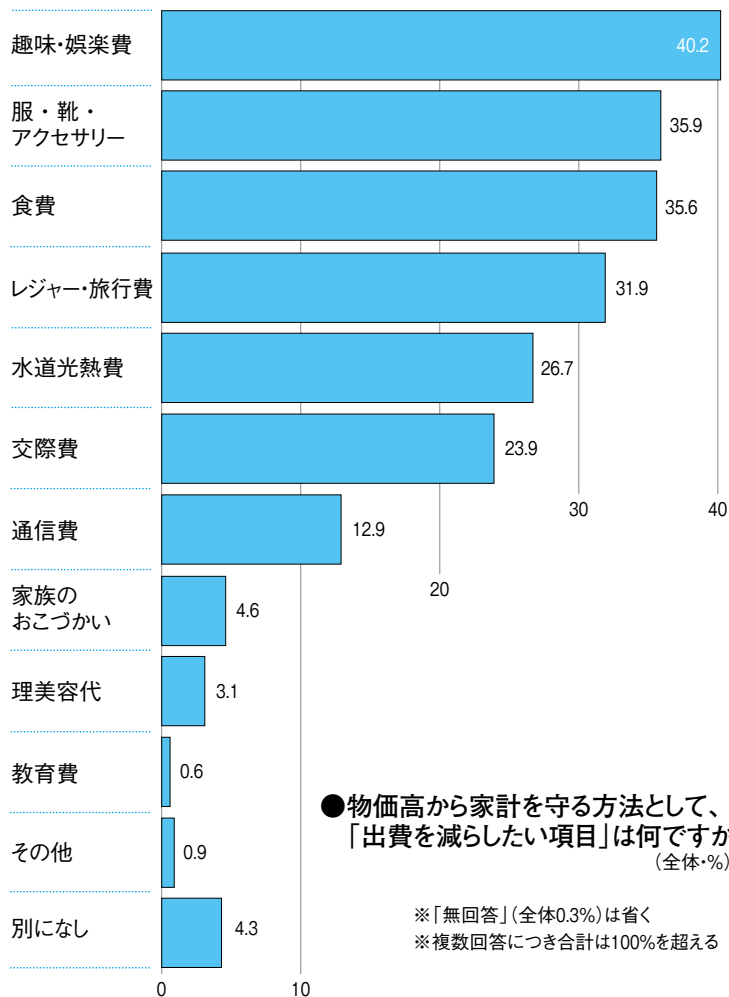
「物価高から家計を守る方法として、出費を減らしたい項目」を聞きました。

トップは、「趣味・娯楽費」(40%)、2番目は、「服・靴・アクセサリ」と「食費」がともに36%、3番目は、「レジャー・旅行費」(32%)となりました。

男女別でトップ3の項目を見ると、男性は「趣味・娯楽費」(46%)、「レジャー・旅行費」(34%)、「食費」(31%)となりました。女性は「服・靴・アクセサリ」(49%)、「食費」(42%)、「水道光熱費」(36%)となり、項目においても相違しています。

年代別でトップ3の項目を見ると、10～20代は「服・靴・アクセサリ」(47%)、「食費」(38%)、「趣味・娯楽費」(36%)、30～40代は「趣味・娯楽費」(40%)、「食費」(38%)、「レジャー・旅行費」と「服・靴・アクセサリ」がともに(34%)、50代以上は「趣味・娯楽費」(42%)、「レジャー・旅行費」(34%)、「服・靴・アクセサリ」(33%)となり、順位は全体で異なっています。

〈当金庫・2022年9月調査〉



●みなさまの税務相談のご案内 [11月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
11月 2日 水	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	11月16日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)
4日 金	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	17日 木	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
8日 火	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	22日 火	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
9日 水	大豆島支店 (長池支店)		24日 木	本店営業部	
11日 金	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	25日 金	本部	
14日 月	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	29日 火	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

